

◆ 国内外の4学会共催のコンクリートサステナビリティに関する国際会議で表彰されました。

会議の目的

サステナビリティは、人類にとって21世紀最大の課題であり、すべての産業が持続可能な活動を行う必要があります。資源やエネルギーを大量に消費するコンクリート産業も例外ではありません。そこで、コンクリート分野におけるサステナビリティを推進することを目的に第1回国際会議 (First International Conference on Concrete Sustainability)が開催されました。

開催者

主催は、世界の主要な学会である日本コンクリート工学会および共催は、国際構造コンクリート連合 (fib)、アメリカコンクリート学会 (ACI)、国際材料構造試験研究機関・専門家連合 (RILEM)の4団体です。

受賞の経緯

会議には、世界35カ国から220名が参加し、171編の一般論文が投稿されました。この中から、27編が優秀賞に、さらに3編が表彰論文となりました。アクアカーテンはこの3編の一つに選ばれました。まさに画期的なできごとです。

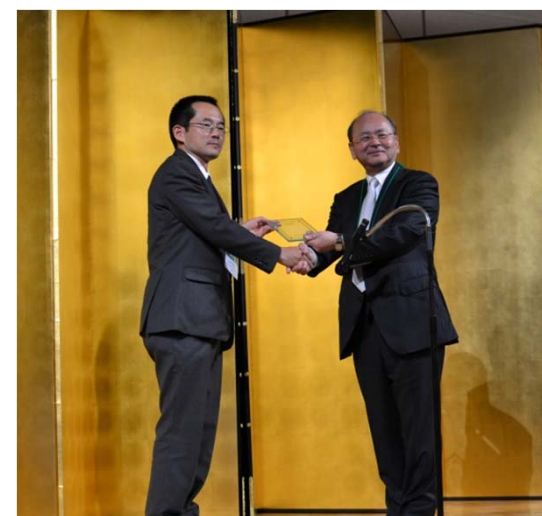
論文のタイトル

論文のタイトルは、「新しく開発した給水養生工法アクアカーテンを適用したコンクリートの耐久性の向上効果と適用」(Effects of Improving Durability of Concrete by Aqua Curtain Curing and its Application-Development of the New Wet Curing Method-)です。

アクアカーテンを用いて鉄筋コンクリート構造物の長寿命化を図り、これによってライフサイクルに渡る環境負荷量、コストの低減をめざします。



都内で開催された会場での発表の様子



堺委員長からBest Technical Applicationを受賞



Best Technical Applicationの楯

アクアカーテンに関しては、アクアカーテン普及会のホームページ <http://www.aqua-curtain.jp> で詳しい情報を提供しています。